

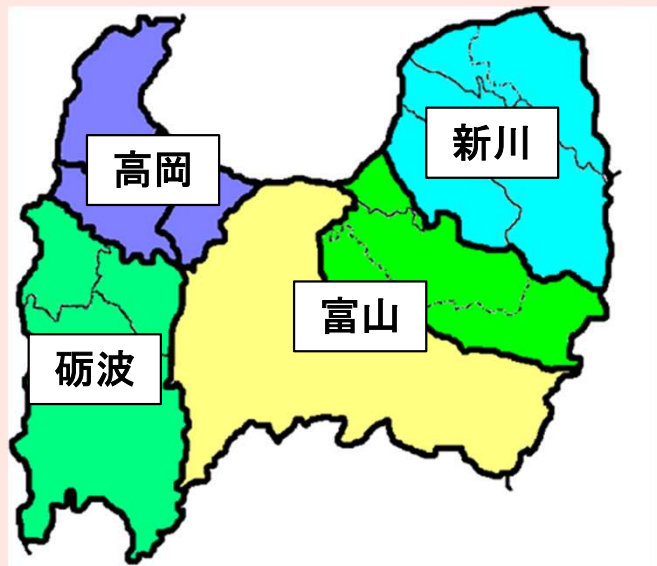
富山県

本人中心の支援を当たり前のこととして
取り組める人材の育成を目指して

富山県では、入院の長期化を防ぎ、また、長期入院者であっても本人中心の支援を当たり前のこととして取り組める人材の育成に取り組んでいます。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

富山県



取組内容

- 平成23年度 ピア・フレンズ養成事業
- 平成24年度 高齢長期入院患者退院支援事業
- 平成26年度 精神障害者地域移行推進人材育成研修事業
- 平成27年度 精神科訪問看護師育成支援事業
ピア・フレンズ派遣事業
精神障害者アウトリーチモデル事業
- 平成29年度 精神障害者実態調査事業
- 平成30年度 精神障害者アウトリーチ事業
精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業
精神障害者支援人材育成研修事業
措置入院者等退院後支援事業
- 令和3年度 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数 (R6年4月時点)	4	か所		
市町村数 (R6年4月時点)	15	市町村		
人口 (R6年6月時点)	998,561	人		
精神科病院の数 (R5年6月時点)	27	病院		
精神科病床数 (R5年6月時点)	2,974	床		
入院精神障害者数 (R5年6月時点)	合計	2,701	人	
	3か月未満 (%:構成割合)	411	人	
		15.2	%	
	3か月以上1年未満 (%:構成割合)	447	人	
		16.5	%	
	1年以上 (%:構成割合)	1,843	人	
	68.2	%		
	うち65歳未満	623	人	
	うち65歳以上	1,220	人	
退院率 (R2年4月時点)	入院後3か月時点	62.2	%	
	入院後6か月時点	75.5	%	
	入院後1年時点	83.6	%	
相談支援事業所数 (R6年7月時点)	基幹相談支援センター数	3	か所	
	一般相談支援事業所数	38	か所	
	特定相談支援事業所数	96	か所	
保健所数 (R6年4月時点)	5	か所		
(自立支援)協議会の開催頻度 (R5年度)	(自立支援)協議会の開催頻度	1	回/年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有・無		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (R5年10月時点)	都道府県	有・無	1	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	4 / 4	か所/障害圏域数
	市町村	有・無	9 / 15	か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

精神科病院

現 状

- ・県内精神科入院患者の約2/3が本人の意思によらない入院
- ・入院患者のうち約2/3が1年以上の長期在院
- ・入院患者の約2/3が65歳以上の高齢者

課 題

- ・新設の退院後生活環境相談員を含めた病院スタッフの意識・知識不足
- ・精神科病院スタッフと地域の援助事業者（福祉・介護など）との連携不足
- ・精神科入院患者の退院意欲の低下・諦め
- ・病院内における退院に向けた体制・仕組み

必要な措置

- ・病院内において退院支援の中心的役割を担う人材の育成
- ・福祉・介護サービス、地域相談支援サービス等の周知
- ・外部事業者との連携体制構築
- ・ピアサポート等による入院患者の意欲喚起
- ・多職種による退院支援体制・スキームの構築

地域

現 状

- ・精神科入院患者の減少と通院患者の増加
- ・障害福祉サービス利用の増加

課 題

- ・移行先となる家族・地域住民の不安、理解不足
- ・住居がない精神障害者の住まい確保
- ・地域生活を支える医療福祉サービスの拡充
- ・通院・服薬管理が不十分な精神障害者への対応
- ・地域生活を支えるサービス事業所、行政職員の意識・知識不足

必要な措置

- ・ピアサポーターの活用を含めた精神障害への理解促進
- ・グループホーム等住居の拡充
- ・精神科訪問看護の拡充と従事者のスキルアップ
- ・多職種アウトリーチによる精神障害者のサポート
- ・地域相談支援サービスの周知と活用促進

厚地病
生域院
セ移の
ン行退
タ支院
↓援支
の個援
調別
整給
付
等

働きかけ、必要な支援 等

行政

県
厚生センター

【厚生センターの主な業務】

企画調整、普及啓発、研修、組織育成、相談、訪問指導、社会復帰及び自立と社会参加への支援、入院及び通院医療関係事務、ケース記録の整理及び秘密の保持等、市町村への協力及び連携

市町村

【市町村の主な業務】

企画調整、普及啓発、相談指導、社会復帰及び自立と社会参加への支援、入院及び自立支援医療関係事務、ケース記録の整理及び秘密の保持、その他

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

平成23年度	ピア・フレンズ養成事業(～R3)
平成24年度	高齢長期入院患者退院支援事業(～H26)
平成26年度	精神障害者地域移行推進人材育成研修事業(～H30) (官民協働による地域移行・定着支援を推進する体制づくり、保健医療福祉の連携を推進するための中核となる人材育成)
平成27年度	精神科訪問看護師育成支援事業(～現在) ピア・フレンズ派遣事業(～現在) 精神障害者アウトリーチモデル事業(～H29)
平成29年度	精神障害者実態調査事業
平成30年度	精神障害者アウトリーチ事業(県内全域へ対象を拡充～現在) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業(～R2) 精神障害者支援人材育成研修事業(～現在) (より多くの事業所で精神障害者の受け入れができる体制作りのための人材育成)
令和3年度	措置入院者等退院後支援事業(～現在) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業(～現在)

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和5年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R5年度当初)	実績値 (R5年度末)	具体的な成果・効果
①ピア・フレンズ(ピアサポーター)の派遣施設数(退院意欲の向上、精神障害に関する理解の促進)	医療機関等へのピア・フレンズの派遣を継続	延べ27施設(うち医療機関2か所)	<ul style="list-style-type: none"> ・入院されている方がピア・フレンズの話聞くことで、退院に向けて考えることができた。 ・支援者や県民がピア・フレンズの経験を聴くことで精神障害に関する理解を深めることができた。
②精神障害者支援人材育成研修 介護支援専門員、相談支援専門員等の研修参加者数 (介護分野、身体・知的分野での精神障害の理解の促進)	継続実施	22人 (地域包括支援センター職員、相談支援事業所職員)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターや相談支援事業所の職員が精神障害者への支援方法や理解を深めた。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

- 【特徴(強み)】
1. 各圏域において、地域移行支援に関する協議の場がある。
 2. ピア・フレンズの活動の拡充。アウトリーチチームがある。
 3. 全圏域で構築支援事業のモデル圏域の取組み実績がある。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者のうち、1年以上の入院患者の割合(68%)、高齢者の割合(65%)が高い。 ・退院率が全国平均より低い。 ・長期入院患者の地域移行について、病院内と地域からの両方の支援の充実が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア・フレンズによる長期入院患者の退院意欲向上、家族や関係者等へ精神障害の理解の促進を図る。 ・介護支援専門員、相談支援専門員等の精神障害者支援に関する研修の実施(精神障害者支援人材育成研修事業) ・各圏域における地域移行推進に向けた取組みの強化 	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域における地域移行推進に向けた取組を強化する。 ・保健・医療、福祉、介護の協働に向けた検討
		医療	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟看護師の意識向上、障害福祉サービス等地域の資源を知る。 ・病院内において退院支援を積極的に行える機運を高める。 ・ピアサポートによる入院患者への関わり。
		福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・地域相談支援サービスの周知と活用 ・本人に関わるタイミングや認識を病院と共有 ・介護領域との連携
		その他関係機関・住民等	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・地域の精神障害の理解や受けとめ。 ・専門職以外の支援・見守り。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和6年度末)	見込んでいる成果・効果
①ピア・フレンズ(ピアサポーター)の派遣施設	延べ27施設 (うち医療機関2か所)	医療機関等へのピア・フレンズ派遣を継続	退院意欲の向上、精神障害に関する理解の促進
②精神障害者支援人材育成研修 介護支援専門員、相談支援専門員等の研修の参加者数	22人	継続実施	介護分野、身体・知的分野での精神障害の理解の促進

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

各圏域において、地域移行支援に関する協議の場を設置しており、各圏域の状況（強み・課題等）に応じて関係機関と連携しながら精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進している

所管部署名	所管部署における主な業務	連携部署名	連携部署における主な業務
県厚生部健康対策室健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急医療システムの整備、運営 ・精神障害者支援人材育成研修事業 ・ピア・フレンズの派遣 ・措置入院者等退院後支援事業 ・精神専門相談支援事業 等 	県厚生部障害福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者ピアサポート研修 ・相談支援従事者研修 ・サービス管理責任者研修 等

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、行政等の関係者による連絡会の開催 ・治療中断者等へのアウトリーチ事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内全域を対象とした多職種によるアウトリーチチームがある。 ・各圏域と管内の市町村との連動が課題。
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急情報センターの整備（夜間・休日の精神科病院による当番病院制の構築、緊急の精神科医療相談） ・医療機関へのピア・フレンズ派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア・フレンズ派遣事業により、入院患者が地域生活について考えたり、医療機関職員も退院後の生活見据えた関わりについて考えるきっかけとなっている。
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス事業所等の職員を対象に精神障害者支援に関する研修を実施（精神障害者へのサービスの質の向上と事業所での受け入れ体制づくり推進） 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期入院者のうち、65歳未満の入院者数は減少しているが、65歳以上が増加しており、高齢入院者への対応が課題。
その他関係機関・住民等	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉に関心がある方を対象（地域住民含む）としたメンタルヘルスサポーターの養成、育成 ・県精神保健福祉家族連合会への支援（家族相談会事業の再委託） 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルスサポーターが活動する場が減少していることや、高齢化に伴い、年々メンタルヘルスサポーター数が減少。（圏域によっては隔年で新規養成講座実施）

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
富山県自立支援協議会専門部会「精神部会」	医療福祉介護分野、当事者、家族、市町村、厚生センター(保健所)	1回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県の精神障害者の現状について ・令和5年度精神保健福祉主要事業について 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に県の協議の場として位置付けたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、近年は書面開催が続いている。令和5年度は対面にて実施予定だったが、震災のため書面開催とした。

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

- ・協議の場は位置づけたが、協議内容(どのような目標を設定するのか等)について未確定。
- ・圏域によっては福祉分野の協議の場は位置づけたが、医療保健分野の協議の場の位置づけについて未確定。
- ・医療保健分野、福祉分野それぞれ会議を開催しており、全体の会議の場がない(合意なし)
- ・市町村協議の場における協議内容の方向性について定まらない。
- ・事業展開の方向性(どこに力を入れればよいか)について悩みどころ。

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

短期目標 (今年度)	コロナ禍等で事業が停滞傾向だったことから、県及び市町村の精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築状況を把握し、今後の課題について整理する。	
スモール ステップ	構築推進アドバイザーとコア会議を行い、今後の方向性を明確化する。	
時期(月)	実施する項目	実施する内容
R6年4月	連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア・フレンズ派遣事業 ・精神障害者アウトリーチ事業 ・措置入院者等退院後支援事業
R6年7月	研修会	厚生センター等連絡会
↓	研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者支援人材育成研修 (より多くの事業所で精神障害者の受け入れができる体制づくりのための人材育成)
R7年3月	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・県自立支援協議会精神部会の開催 (県精神障害者地域移行・地域定着推進検討会)